

Active School Kai Project 令和6年度プロジェクト計画書(報告書)

学校番号	17	学校名	日川高校		
全・定・通	全	学年	2	在籍生徒数	197 名
教育目標 (学力に関するもの)		学習目標を明確化し、指導と評価の一体化に努め授業力の向上を図る。ICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びを目指す。			
育てたい生徒像 身に付けさせたい資質・能力		・文武両道を実践する意思を持ち、向上心を持って努力できる生徒 ・知的好奇心が旺盛で、主体的に考え、行動できる生徒 ・目標を持ち、実現に向けてひたむきに努力できる生徒 ☆ 身に付けるべき資質・能力 主体性、協働性、粘り強さ／思考力、判断力、表現力、自己分析力、課題解決力／自己管理能力、情報活用力、コミュニケーション力			
各教科の取組					
教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題	
国語	【知識及び技能】美社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、言語に対する理解を深めることができる。	4	4.1	現代文分野において一定の成果が見られたが、伝統文化に根差した言語や常識において今後教養を広げていく必要がある。	
	【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力や想像力を伸ばし、他者に伝えることを通して、自分の考えを深めることができる。	4.1	4.2	論理的文章のや文学的文章との読み比べ等で、思考を深め、それを表現し他者と共有した。幅広い分野に触れることが今後求められる。	
	【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつことができる。	4	4.2	課題やワークシートには取り組むが、そこから発展した活動や主体的な活動に至っていないので、自ら課題を発見する姿勢を促したい。	
地公	【知識及び技能】歴史上の諸事象、および現代の諸課題について理解を深めるとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめることができる。	4	4.1	基本的な知識の習得に終始し、資料を駆使して必要な情報を取得し、まとめる力は不十分である。	
	【思考力、判断力、表現力等】歴史上の諸事象、および現代の諸課題について、多面的・多角的に考察を深め、合理的に判断し、適切に表現することができる。	4	4	思考力・判断力を養う取り組みを行っているが、自ら意欲的に取り組んでいるのは、一部の生徒に限られている。	
	【学びに向かう力、人間性等】民主社会に生きる人間の在り方・生き方について、自らの問題として主体的に思索することができる。	4.1	4.2	授業や課題に真面目には取り組んでいる。一方で、授業・課題への取り組みが、異なる局面において生かすことができない生徒がほとんどである。	
数学	【知識及び技能】事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	4	4	公式や定理を覚え、正しく活用することはできるようになっているが、基本的な計算の正確さには課題が残る。また応用的な問題に	
	【思考力、判断力、表現力等】数や式を目的に応じて適切に変形できる。関数関係に着目し、事象を的確に表現できる。	3.9	4	問題を解いていくうえで思考したり解決の糸口となるような図やグラフをかけるように指導していきたい。	
	【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。	4	4.1	対話を通して自ら学ぶとする姿勢は評価できる。他者の考えを自らの考えに反映させ、考察を深めていくことができるようにさせたい。	
理科	【知識及び技能】自然の事物・現象について科学的に探究するために必要な知識及び技能を身に付けている。	4.1	4.2	自然の事物・現象に興味を持ちつつ、探究することができたと思う。しかし、探究活動を行ったための技能が不十分で、結果が思うように得られないこともある。実験の技能を向上させたい。	
	【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から生じる課題に対し、科学的・批判的に思考を深め、表現することができる。	4	4.1	探究活動をするうえで、考察する際に科学的・批判的な力を少しづつではあるが、向上させることができた。しかし、まだ不十分であるため、今後も継続しながら、それらの力を育成したい。	
	【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に対し、課題を発見して主体的に探究し、解決しようとすることができる。	4.1	4.2	与えられた課題に対しては、取り組む姿勢がみられるが、主体的に活動している生徒に頼っている生徒も見られる。グループ活動をうまく利用しながらの指導を行いたい。	
英語	【知識及び技能】英語の特徴やまじに関する事項を理解し、目的・場面・状況などに応じて日常的・社会的課題などについてコミュニケーションができる。	4.1	4.1	言い換え活動の際に見られる語彙力、イデオム力、構文力等の不足の解消させたい。特に、まとまったパラグラフライティングに必要な文章構成能力をつけさせたい。	
	【思考力、判断力、表現力等】目的・場面・状況に応じて日常的・社会的課題について情報・考え・気持ちなどを論理的に把握したり伝えることができる。	4.1	4.1	行間を読んだり、反語的な表現や婉曲的な表現にどう思う生徒が多いため、様々な技巧を駆使した文章に接する機会を増やしたい。また、素読力や斜め読み力が求められる場面にも適切に対応できる力を伸ばしたい。	
	【学びに向かう力、人間性等】異文化への理解を深め、相手に配慮し、主体的、自律的に英語で把握したり伝えることができる。	4.1	4.1	フェロー講演会の外国人講師やタイプアドバイザーとのインタラクションは自購読なく自然に行えるものの、必ずしも場面に適切ではないケースも見られた。積極性を大事にしつつ誤解を招かない応対力養成が必要であ	
芸術					
家庭	【知識及び技能】生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解し、それらにかかわる技能を身に付けることができる。	4.3	4.4	実験・実習がある分野は成果がやすいが、他の分野についても理解が実生活に結び付けられるようにしたい。	
	【思考力、判断力、表現力等】生活の中から問題を見出し、解決策を構想し、根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができる。	4.3	4.4	発表をすることに重きがおかれがちであったので、日々の生活の中で課題を解決できる力を身に付けさせたい。	
	【学びに向かう力、人間性等】さまざまな人々と協働し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を身に付けることができる。	4.3	4.4	実験・実習においては達成できたが、BYODを活用するなど教室の授業においてもより主体的に取り組める工夫をしたい。	
保体	【知識及び技能】知識を踏まえて、運動の技能として発揮したり、身体表現したりする技能を身に付けることができる。	4.3	4.4	基礎的な技能を全員が身に付けられるようにするとともに、集団として各々が役割を果たすことを目指した取り組みができるようにする。	
	【思考力、判断力、表現力等】技術的な課題や有効な練習方法について指導する力や状況に応じた自己や仲間の役割を設定する力を身に付けることができる。	4.3	4.2	自らのレベルをしっかりと認識し、より高めることへの探求心を意識させ他者との協力・共生の意識を持たせる。	
	【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続し、明るく豊かで活力のある生活を送る態度を身に付けることができる。	4.4	4.4	生涯にわたってスポーツを行っていきける資質を身に付けさせるとともに、自己の健康課題を見つけて改善できるようにさせる。	

教科	身に付けさせたい資質・能力	中間評価	年度末評価	次年度への課題
情報				
総探	【知識及び技能】関心のある分野について正しく理解し、課題発見のための知識や技術を身につける。	—	4.2	関心のある先行研究を複数比較したり十分に参考にする班が少なかった。そのことで活動が研究ではなく調べ学習にとどまってしまうグループが依然として見られたので進いしつかり認識させたい。
	【思考・判断・表現】課題発見や設定において、必要な情報を収集整理し発表できる。	—	4.3	仮説が漠然としたままデータの分析を行ったため明快な考察になっていないケースが見られた。グラフによる表現もひと工夫必要な班が目立ったので多くの模範例との比較をさせたい。
	【主体的に学習に取り組む態度】自分や社会生活の発展のために進んで探究活動に取り組むことができる。	—	4.2	ローカルデータを収集するために積極的に収集活動を行うことができたものの、十分な数のデータを集めることができたグループは多いとは言えなかったので計画的な行動をとらせたい。

「授業アンケート」高評価数値の推移(96:小点数第1位まで)		R6中間	R6度末
授業の始めに授業の目標を確認することができた ①強くそう思う、②そう思う		81.1%	71.6%
話し合い、討論、発表などの言語活動に取り組むことができた ①強くそう思う、②そう思う		94.1%	92.9%
他の人の話や発表に耳を傾けることができた ①強くそう思う、②そう思う		96.5%	96.7%
ノート等で授業の記録をすることができた ①強くそう思う、②そう思う		94.7%	93.4%
活用・探究など、学んだことを別の場面で使うようにすることができた ①強くそう思う、②そう思う		85.2%	84.7%
授業や単元の終わりに、目標を達成しているかを評価することができた ①強くそう思う、②そう思う		75.9%	66.7%
家庭学習(宿題や課題)と授業を、有機的に結び付けることができた ①強くそう思う、②そう思う		84.7%	78.7%
授業や家庭学習にICT機器を効果的に活用することができた ①強くそう思う、②そう思う		90.6%	87.4%

保護者アンケート結果(学力に係わるもの)

生徒の家庭での学習状況や教員の学習指導にかかわるアンケートでは、「達成されている」「ほぼ達成されている」が合わせて8割以上であった。学習に関する生徒自身のアンケート結果も昨年時よりも高評価が増えほぼ9割であった。このことから学力の伸長への一定の評価がうかがえる。記述の回答では、学習と部活動の両立に試行錯誤しているとの回答も見られた。生徒・保護者とも連携し学習時間の確保をしていきたい。

授業アンケート等を踏まえた総合評価(学校としての今年度の成果と次年度の課題を含む)

生徒の自己評価は最も低い項目でも4.0であり、比較的高い評価となっている。授業アンケートでも多くの項目で高い数値がみられ、最も低いのが「授業や単元の終わりで目標達成の評価」で6割となっている。ただし昨年度と比べると割合は増加しており、改善されつつあると考える。他年次に比べ元々自己肯定感がやや低い年次であるため、教員側の学習指導の改善の継続とともに、自己の可能性を見出すことや努力が結果に表れる体験を積ませることで精神的な成長を図り、学力の伸長にもつなげていきたい。